

平成22年6月6日

新住協研修会について

宮城県松島にて5月21日、22日の二日間 新木造住宅技術研修会を受講してきました。

快適省エネ化住宅の需要が高まって来て、高断熱・高気密住宅の普及が進むにつれ、良質でいい住宅が求められる様になりました。

技術的にも高断熱・高気密を基本性能とし、各メーカーがいろいろな努力をして商品を開発しているのが、素晴らしいと思いました。

更に、単なるリフォームではなく、断熱気密を重視し、圧縮GWを充填して気流止めを設けたり、既存外装面の上に付加断熱材施工を行う改修工法は短期間で施工できる断熱改修手法だと思いました。

ただ、全てが高断熱グラスウールを使用している為、施工コスト面やグラスウールの経年変化が疑問に思いました。

更にヒートポンプ給湯は発電所が作るエネルギーの方が大きく、ソーラー温水器は、ぬるくなればガスで温めなければならないと言う否定的な事にも疑問を感じました。

これからは、一步も二歩も進んだ省エネ住宅・Q1住宅建設を目指して質の良い高断熱・高気密住宅を設計・建設・販売・管理して行きたいと思います。

大鎮キムラ建設株式会社

室蘭店 三國英俊

